



◀ 環境月間 ▶

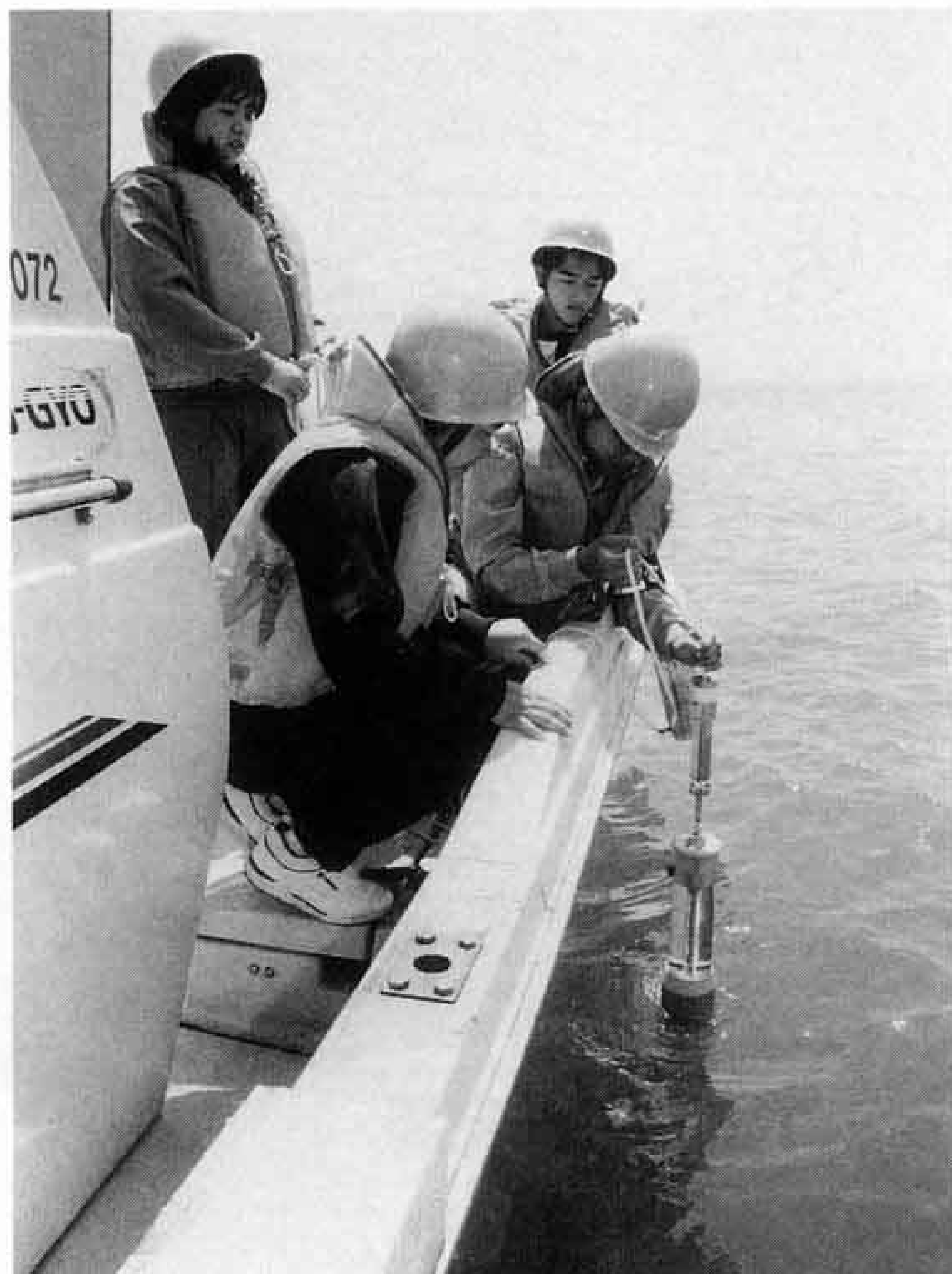


大きくなぁーれ 鯉の放流

6月1日 環境月間は、鯉の放流でスタート。五味島の富士中央小学校の6年生80人が、小学校北側の潤井川へ鯉を放しました。今回放流したのは、約10センチの鯉の稚魚2,000匹。生徒たちは2人1組になって、「鯉が元気に育つようなきれいな川に」と願いを込めて、バケツに分けられた鯉を丁寧に放流しました。

地球とはもっと仲よくなれるはず「環境展」

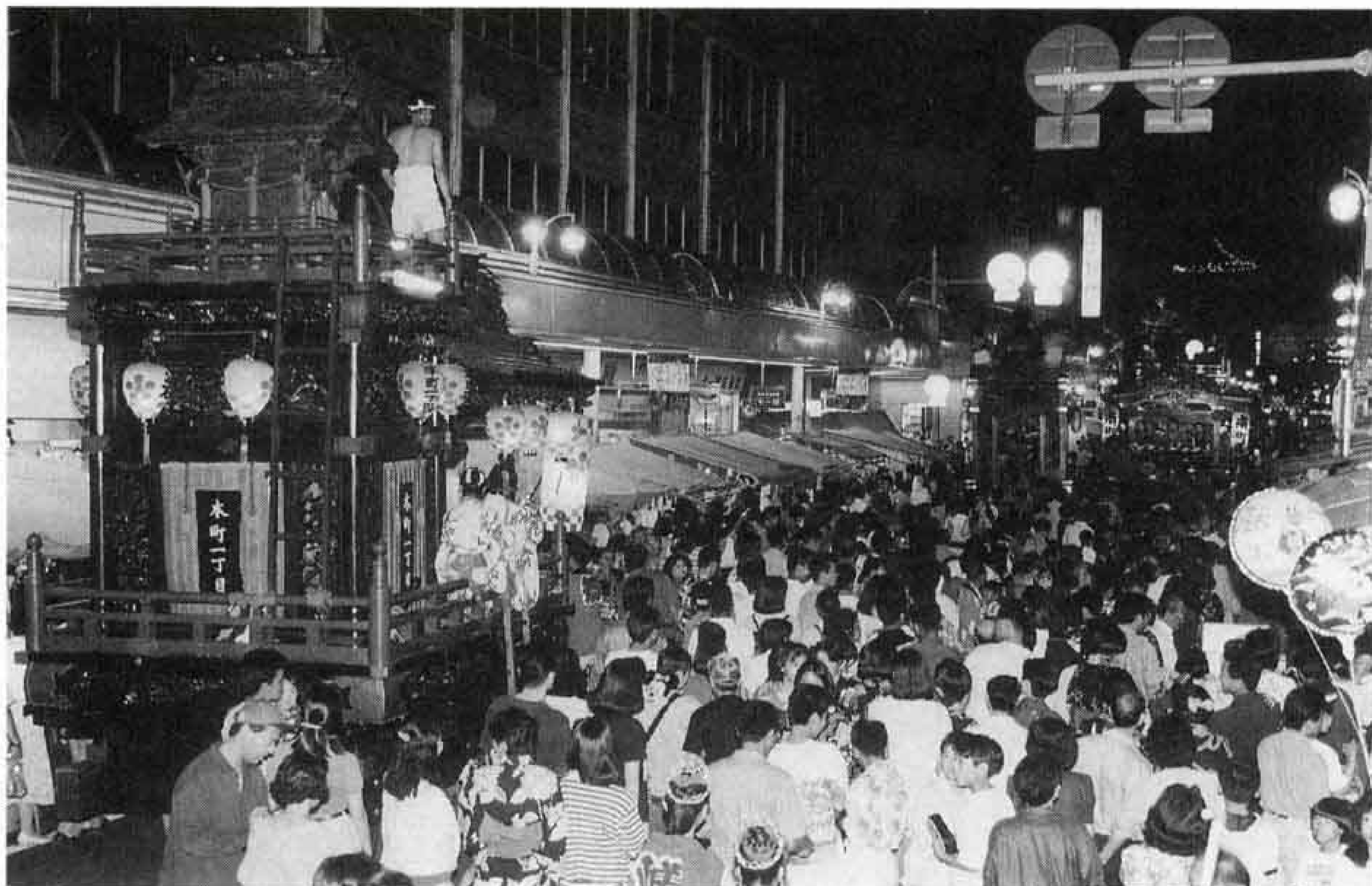
6月5・6日 パピーで開かれた環境展には、地球に優しい電気自動車や再生紙などが展示され、注目を集めました。



環境破壊に目を光らせて 「一日環境監視パトロール隊」

6月10日 一日環境監視パトロール隊が、田子の浦港や富士市沿岸の環境を巡視しました。市長を隊長に、市内の高校生12人が隊員となり、巡視艇、パトロール艇に乗って海へ出航。海水を採水して、PHや水の中の酸素の量、細かい浮遊物などを厳しくチェックしました。

吉原祇園祭



おはやし鳴れば心も踊る 「吉原祇園祭」

6月12・13日 毎年恒例の吉原祇園祭は、ことしも大盛況。

伝統のあるこの祭りは、吉原本町通りを中心に、おはやしを奏でながら山車(だし)が練り歩きます。吉原っ子なら、「テンテケドコドン」のおはやしを聞いたらいともたってもいられなくなるほど。また、土曜日にはことしで2回目の女みこし、日曜日にはけんかみこしも行われ、街が祭り一色になった2日間でした。



オーシャンサイド ナウ vol. ⑧

=街の活性化へ=

オーシャンサイドは今、市内の企業の活性化と、新しい企業を市内へ誘致するための事業に踏み出しました。

9月30日、「企業の共同経営」という経済サミットを市役所で開きます。この日は、経済の専門家が中心になり仕事に関係した研究会、セミナー、パネルディスカッションを行い、最新の情報などを提供します。

地元の企業は、自分たちの製品の展示やサービスをし、企業同士の情報交換をします。地元のレストランも、試食品をサービス。また、ミュージシャンの演奏や、アーティストによる作品の展示も、市役所の近くで行われます。

=企業と協力した関係を=

市はサミットに向けて、企業の主な人と会い、企業を誘致し生産力をアップするには、市がどのような経済援助をしたらよいのか、意見を聞きます。このような方法で、日本のように行政と企業が協力した関係をつくらうと学



んでいるのです。

多くのアメリカの市は、経済の安定した発展のために、企業がどのような援助を必要としているのかわらうと、より近づいた関係をつくらうと努力しています。

そしてそれぞれの市が、街に企業を誘致するための援助や政策を出し、市同士の企業の取り合い競争になります。この競争が、行政、企業の活発化になるんです。

では皆さん、また広報ふじでお会いする時まで、

サ・ヨ・ナ・ラ!

Oceanside Now

このコーナーでは、富士市の姉妹都市オーシャンサイドの広報担当ラリー・パウマンさんから送られてくるホットな情報をお知らせします。

ハロー！皆さん。まず始めに、4月に行われたオーシャンサイド芸術の日で富士市から芸術作品を送っていただきまして、ありがとうございました。すばらしい作品51点に私たちはとても感激しました。

さて、今回の話題は経済サミットについて。ちょっと堅い話ですけどごらんください。